

## 会 議 議 事 録

会 議 名 称	第1回 上里町総合教育会議
開 催 日 時	平成31年1月29日（火） 午後3時～午後4時20分
開 催 場 所	上里町役場3階 教育委員会・行政委員会室
出席者	構成員：山下町長、下山教育長、 安藤教育委員、島崎教育委員、阿久戸教育委員、相川教育委員 事務局：総合政策課 関係課：学校教育課、学校教育指導室、生涯学習課
欠席者	なし
傍聴者	なし
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 （1）教育環境の整備について （2）その他 4. 閉会
配 布 資 料	○会議次第 ○出席者名簿・配席表（非公表） ○上里町総合教育会議設置及び運営に関する要綱 ○上里町教育大綱 ○学校教育の充実 学校教育指導室 ○次期学習指導要領を見据えたICT環境整備について ○ワークショップ・勉強会参加・広報1月号写し等

発言者	発言内容
町 長 教育長  事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>総合教育会議について説明</p>
学校教育課長 学校教育指導室長 生涯学習課長	<p>3. 議事</p> <p>(1) 教育環境の整備について</p> <p>①上里町教育大綱に関する実施状況の報告</p> <p>(各担当課が上里町教育大綱に関する事業の実施状況について説明)</p>
阿久戸教育委員	<p>コミュニティ・スクールの導入は、上里町は県内他市町村と比較すると進んでいる方なのか。この間さいたま市の教育委員の方とお話する機会があったのだが、上里の方が進んでいるような印象を受けた。</p>
学校教育指導室	<p>上里町は小学校5校と中学校2校の全てがコミュニティ・スクールということで、近隣市町の状況を見ると、進んでいるというか、求められた方向の通りに進められているという状況。近隣市町では、まずは1校から何校かだけコミュニティ・スクール化して、その状況を踏まえて次年度以降に他の学校もというような進め方をしたところが多いが、上里町は昨年10月から同時に行った。国から求められている「地域と共にある学校づくり」に向けて進んでいると思われる。</p>
阿久戸教育委員  教育長	<p>7校一気にコミュニティ・スクールとしたのは何か理由があるのか。</p> <p>一般的に言うと、1つの小学校から1つの中学校に進学する、もしくは1つの中学校に小学校2校、3校が進学するという形態で小学校から中学校へ移行する。しかし上里は特殊で、1つの小学校から2つの中学校へ行くというパターンがある。東小学校の児童は上里中学校と上里北中学校に別れて進学する。そうすると、どこかモデル的にコミュニティ・スクール</p>

相川教育委員	<p>化をした場合に齟齬が生じる。1つの中学校の学区内でコミュニティ・スクール化を推進するというやり方の市町もあるが、それを上里で行うと学校間での差が生じる。多少無理はあるが、一気に全校を対象とした方が、子どもたちも地域も混乱しないだろうという判断のもと実施した。一斉に行うことで混乱が生じるのではという危惧もあったが、実際にはそのようなことは起こらずに済んでいる。</p> <p>大綱の「幼児教育の充実と小学校教育との円滑な接続の推進」というところで、自分には子供がいるが、このような事業が実施されているのを知らずにいた。具体的にはどのようなことを進めているのか。幼稚園・保育園の教育状況が町を経由して小学校に伝えられているということか。</p>
学校教育指導室	<p>幼稚園・保育園から小学校に上がる際に、子供によってはすぐに新しい環境に慣れる子もいれば、そうでない子もいる。これまで登園の際には保護者と一緒だったのが、自分で登校するようになるとか、様々な環境の変化でスムーズに移行することができない、また個別に支援を必要とするような子もいる。いかにスムーズに小学校に接続するかが求められる。</p> <p>そのような状況で、上里町では公立・私立の幼稚園・保育園の計9園の管理職及び担当者の方に集まっていただく会議の場を設け、「保幼小連絡協議会」として、スムーズな接続のための情報共有をさせていただいている。</p> <p>また、1学期の6月（今年度は7月開催）には、各学校の校長、各幼稚園・保育園の園長に集まっていただいて、学校と幼稚園・保育園の担当者がそれぞれ担当していた（している）児童についての情報共有やアドバイスをしあったり、学校の教員が幼稚園・保育園を訪れて子供たちの様子を見るというような連携をとれるように、まずは管理職級が共有し合った。また、夏休み中も、学校が休みの期間は学校の教員が幼稚園・保育園に行き、来年度入学する児童の様子を見たり、というような対応をしている。</p> <p>来週には今年度2回目の、担当職員級（年長担当と低学年担当）の連絡協議会を開く予定。以上のような、保幼小間での職員間連携を密にするような事業を実施している。</p>
阿久戸教育委員	<p><b>②次期学習指導要領に対応する統合型公務支援システムについて</b></p> <p>（次期学習指導要領を見据えたICT環境整備について 説明）</p> <p>上里町の教育は、特にICT教育に関してすごい充実度だと思う。県の</p>

	<p>教育委員会の研修会に参加して知ったが、他の市町村ではICTについて何もやっていないという状況が多いとのことだった。やっても1校がモデル校として導入したというくらいで、全校整備というのは珍しい。先ほどの話でもあったように、学校間の格差をなくすためだとは思いますが。この取組について、町長はどう考えているか。</p>
議長（町長）	<p>確かに全校整備はすごいが、ICTを活用する側の資質というか、指導側のスキルも問われると思う。</p>
阿久戸教育委員	<p>指導側のスキルについては、現状どうなっているのか。</p>
学校教育指導室	<p>その点については、ICTを活用した公開授業等に是非来ていただいて、確かめてほしい。上里中学校では通常学級だけでなく、特別支援学級でもタブレットを活用した授業が普通に行われている。小学校でも今年度に62台のタブレット配備があったが、それを活用しきれないということにならないよう、ICT支援員が小学校5校を順次回って、教員がICT機器を活用するにあたって不明な点等を相談できるようにしている。</p>
相川教育委員	<p>資料をふまえて説明いただいたが、この資料の図を見ると、校務支援システムは学校ICT推進の土台的な書かれ方をしている。いままではそれがなくままタブレット配備等から進めてきてしまっていたということか。進めるところだけ進めていって、お金が確保できたから土台をようやく整備しますというのは、今まで進めてきたシステムとうまく連携したりとかできるのか。</p>
学校教育指導室	<p>資料の13ページや16ページにある図は同じものだが、この土台のように書かれたもののうちの1つは「教科指導におけるICT活用」があり、これは既に無線LANの整備や教科指導でのタブレットが活用できるようにすることなど、国が進めているような形と同様に進めてこれていた。しかし校務に関しては、個人情報の管理等、セキュリティが担保された状況でなければ導入できないため、どちらを優先するかという段で子どもたちへの教育環境の整備を優先した結果、今の充実した取り組みに繋がった。教員の校務の情報化については、セキュリティ面が一番心配なので、安全に校務ができる環境になった今から進めているという状況。成績処理とか、セキュリティ対策は細心の注意を払われるべき案件なので、他市町村の導入状況を把握してからがよいということになり、より丁寧に検討し</p>

相川教育委員	<p>てきたと考えている。</p> <p>未導入だった一番下のところは先生たちのためのシステムであり、子どもたちの学習においてこれは全く違うということか。この図だと下の校務支援システムがないと上の学習支援システムが成り立たないというような理解になるのだが。先生側からすると、一番下の校務支援システムは非常に大事なものだが、子供たちにとっては、学習する分にはこれは無くても問題がないというような考え方でいいのか。それともこれから更に学習を進めるにあたって、個人の進み具合とかがあるので、そのあたりを情報化することによって連携を取っていくためにどうしても必要なのか。</p> <p>進め方というかシステムの組み合わせとどうか、そのあたりの位置づけがどうしても合点がいかないのだが。</p>
学校教育指導室	<p>いわゆる情報化社会において、学習するにはタブレットパソコンやインターネットから情報を取得するという手順が求められるが、今現在、各家庭にそういった状況がないために広がる格差も少なくするためにというのも含めて、子どもがICT環境に触れ・活用できる力をつけられるように最優先で進めてきたという理由がある。だが、おっしゃる通り、子どもはいつでもタブレットを使って情報を調べたりすることができるが、セキュリティ上の関係で教員用のパソコンは1台しかインターネット接続が出来ず、指導方法の共有や教材の検索もその1台でしか出来なかった。そのような状況でぎりぎりやってきた。校務支援も学習支援も同時にシステム導入ができれば一番良かったが、予算の都合上、子どもの方の学習支援を優先してきた。</p>
事務局	<p>システム担当からも補足説明をさせていただく。役場の業務においてもそうだが、統合型公務支援システムは先生方の業務効率の部分が多い。しかし、このシステム構築は非常に高価となる。どうしても予算上教育の方が優先されてきていて、業務効率化の部分というのは後回しにされてきたという現状はある。この状況については全国的に見ても同じで、統合型校務支援システムの導入が済んでいる自治体は全国でも3割程度にとどまる。それなのになぜ国の資料では基礎的な部分のように書かれているかということ、教育がいくら充実しても、指導する人材の「業務上時間がない」とか、「効率が悪くて充実のために時間が割けない」という状況が問題視されたからである。具体的には平成26年度の「教育のICT進捗状況調査」の結果を見て、国が「やはり校務の業務効率化は教育の充実の</p>

ために不可欠だ」としたから、図でも基礎のように書かれている。結果、その時の調査で出た答えが、統合型校務支援システムを導入した自治体では年間の残業時間が100時間～200時間以上効率化出来ているというような結果が出ている。そういう点から、国の方は是非31年度までには導入して下さいと語調を強めており、町としても今までないがしろにされてきた部分ではあるが、充実しなければならぬと動き出した段階にある。

### ③町のアセットマネジメントの取組について

事務局

(町のアセットマネジメントの取組について 説明)

安藤教育委員

ずっと先のことのように感じるが、見通しが暗いなという印象を受けた。そこで、現状のことでお聞きしたいのだが、勉強会についてはもう実施済みということでは良かったか。その実施概要についてお聞きしたい。

事務局

実施した内容については、概ね先ほどの説明と同じであるが、約40ページほどのスライドを使わせていただき、上里町の人口減少の問題や財政規模縮小の問題、町の公共施設の劣化状況などについて基礎的な点から説明させていただいた。上里町は現在20%削減の目標を掲げているうえで、どのように削減していくかという点については、勉強会に参加して下さった方にも説明したが、決して暗い話ではなく、公共施設をより高機能に、便利にしていくいいチャンスとしてお話した。その考え方として、今ある施設の長寿命化・複合化など色々な例を説明させていただき、最終的には近隣地域の例ということで、本庄市が中央公民館を廃止してはにぼんプラザという大きな施設を作った例を紹介させていただいた。はにぼんプラザでは、中央公民館時代には使用していなかった若い層が学習室を使いやすくなったり、民間テナントがオープンカフェをしたり、結果としてよかったという結果が出た。このような状況について説明させていただいたし、勉強会の様子を録画して公開させていただいている。お時間のある時に見ていただければと思う。

安藤教育委員

参加者はだいたい何人くらいだったのか。

事務局

だいたい15人くらいだったと把握している。

阿久戸教育委員	<p>40年間で312億かかるという試算だが、この分のお金を使わなかったらどうなるのか。</p>
事務局	<p>312億円を施設の更新等に投じなかったらという主旨でよろしいか。そうすると、施設の更新等が出来なくなるということになる。</p>
阿久戸教育委員	<p>施設が使えなくなり、更新もしないとなると、立入禁止の施設が増えるということ。やはり丁寧な説明が欲しい。公共施設を減らしていくというと、サービスを減らしていくということだから、勉強会を1度やりましたというくらいではなくて、例えば字毎で説明会をすとか。手間もかかるし、大変だとは思いますが。</p> <p>私は教育委員になって1年くらいしかたっていないが、上里町はすごくいい町。ただ、公民館を使っているかという使っていない人が大半だと思う。じゃあ公民館はいらないかとなると、そういう乱暴な話ではなくて、どう使っていくかとはいけないのかという話になる。本当にこの公共施設をどうしていくかというのはいいい機会なので、何か実行する前にもっと時間をかけて丁寧にやるべきだ。確かにその勉強会の10人とか、ワークショップに参加する人というのは、だいたい決まった人。区長とかから声がかかって班長が嫌々行くとかそういう人が多い。で、人数がどうにか確保されているのだが、そこは行政側から丁寧な説明をやっていただかないと、基本住民は関心がないので、何かに関わって初めて気にする。できることならば312億円使わなかったらこうなってしまうよということから丁寧に説明を是非してほしい。</p> <p>もう1点、町は「こうやろう」という腹積もりがあると思う。学校が公共施設の50%以上を占めているのだから、ここを2割減らすという腹積もりがあるとか、住民の反応が怖いのは分かるが示した方がいい。アンケートを見せてもらったが、問題が平均的に作られていて、町がどんな狙いでこのアンケートを実施しているのかが分からない。あとから答申を出してそのアンケートの結果を資料として使うのはあまり誠実なやり方ではないと思う。町が「こうします」という方針を示したうえで、施設、例えば学校についてどう思うのか、公民館のあり方についてどう思うのかとか問うとか。せめて「新規で施設を建てない」とかそのくらいは言ってもいいのでは。自分が勤務している浦和市では公民館を無くそうという動きがあったが、相当大変だったらしい。誠実に、丁寧に進めてほしい。</p>
相川教育委員	<p>自分も同じような意見なのだが、アンケートに利用頻度等を聞いている</p>

が、利用頻度はライフサイクルというか年齢で大分変わる。現状を切り取れば自分も使用していない施設が多いが、将来的にはお世話になりたいと考えている施設も多い。そういう設問に変えた場合に、この設問にどれだけ丸がつくのか。この結果ということで、これから自分が使おうと思っていた施設から消えていくという可能性が非常にある。このアンケートは一つの現状の切り取りというところにはなるが、これだけで先を判断するのは非常に難しいのではないかと思う。また、ワークショップの一番左下に「複合化」というキーワードがあるが、この方針で推し進める上里町と、単純にアンケートの結果を踏まえて減らしたり縮小したりする施設を決めるというのと、312億円をどちらの使い方で使うのかによって、町民の充実度は変わらと思う。今実施しているものだけで判断するのは、先程委員の言っていた「暗い将来」というイメージに繋がってしまうのも無理はないと思う。町としての取り組みの見通しが良く分からない。「町としては複合化していくので、どう複合化していけばいいですか？」というようなワークショップや勉強会をしたうえでまともなアンケートを取っていただければまた結果は違うと思う。EU離脱の時も細かい議論がなかったからよくわからないことになっている。お金がないから削減するというのがメインだと思うが、施設をつぶしてサービスも潰すという方向にはならないようにしてほしい。どういう方向で進んでいくのか聞きたい。

事務局

委員のおっしゃる通り、今の時点でのことしか読み取れないアンケートになっているのは確かである。ただ、我々が持っている情報の中で、高齢化は進んでいるけれども利用は下がっているというような現状もしっかりと把握しながら、真に必要なものはどこかというのを検討していく必要がある。あとはどうしても人口減少といった問題が出てくると、結局、税収は人口によって変わってくるものなので、施設の維持管理は施設の数によって変わってくるもの。人口に見合った施設の数、規模、あり方が必要になると思う。そのあたりもしっかりと考慮しながら今後の進め方については考えていきたいと思う。

事務局

更に補足させていただきたい。暗いイメージになってしまうというのはどうしてもあるとは思いますが、丁寧に説明していく必要があるというのを把握している。施設を減らす、しかし機能を減らすとは実は一言も言っていない。

相川教育委員

それをどこかで明言しておかないと、議論の方向とか意見とかがおかし



事務局	<p>くなると思う。なので書き方としては「再配置」とか「集約化」となってしまうと思うが、その言葉と説明の整合性が感じられない。</p> <p>概要版の基本方針の中でも、実は「複合化」を基本方針の理念として書かせていただいている。町としては複合化が一番理想だと感じている。次が集約化、同じ機能で別の施設というのをくっつけて、さらに機能の充実を図るものもある。あくまで「施設総量を減らした中で機能は複合化して活かしたい」、逆に今まで単独ではできなかった事務や成し得なかった機能をつけるチャンスではある。今後、このような考えが伝わっていくよう伝え方を工夫していければと思う。</p>
教育長	<p>一番は、町民にとって何が必要か、将来にわたって何が必要か、その地域にとって何が必要なのかというのを抜きにして考えていくと、複合化ありき、廃止ありきという話になる。人口減少があるが、今ある地域を維持していくにはというのが行政の大きな役割。小さくなったらいいとか、集約してしまえばいいというのは住民にとってみたら辛い話。行政がそういう風にやったら住民は何もできない。そうなると、まちづくり全体の話と絡めてやっていかないと、施設がどう、ではなく、町として町に住んでいる人や地域には何が必要なのかという発想でいかないと。そのうえで集約化が不可欠であるとなったならば集約でいいと思うが、ありきで考えるのはどうかと思う。今回の会議で住民の代表の方が言っているのはそういう話。さっきもあったが、アンケートでは今現在のことしか聞けていない。絶対に利用率が高いという結果にはならない。なぜか、不要だから、となる。その結果で「やっぱりこの施設はいらないね」となるのか。町民としての必要な施設という考え方はこのアンケートではつかめない気がする。もう実施しているアンケートだから仕方ないが、そのあたりはどう考えるのか。そうすると、ワークショップを相当うまくやらないと。ワークショップでどれだけの意見を引き出せるかがものすごく重要になる。</p> <p>施設面積を減らさなければいけないのはよく分かる。ただ、どこを減らせればいいのかという点と、なぜそこを減らさなければいけないのかという裏付けが心配。</p>
議長	<p>難しい問題なので、仮説を立てて、10年後20年後になった時にこういうことが想定されますよと、それに対してのアンケートがいいと。</p>
教育長	<p>それがあるといい。別に、20代の人には60代になった時にどう考えま</p>

阿久戸教育委員	<p>すかと聞くのが大事。</p> <p>政治的な役割も大きい。公共施設をなくそうとするのか、ちゃんとさせるのか。よく神泉村も神川町が引き受けたなと思う。行政効率から言えば、合併する必要はなかった。そういう結果になってしまう。神泉村には何も作らないで、神川町は丹荘駅の周辺だけ充実させていけとって、住宅街を作って、みんな神泉村を捨ててそこに住んでもらえば行政効率が非常に高くなるから、そういうふうにすればいいというようなアンケートを中心に実行していった。北本市も新駅を作るのにはみんな反対した。人が住んでいないのに駅はいらないと。これから町を作るところに駅を作りたいということだったのだが。でも住民投票で否決される。アンケートみたいなものは非常に危険なところがあるから、きちんと説明をして、それから。地域はやはりいいところ。長幡とかもいいところだと思う。</p> <p>(2) その他</p> <p>4. 閉会</p>
---------	---

## 署名欄

町 長	山下 博一
教育委員会 教 育 長	下 山 彰 夫